

製炭工程④窯木入れ 窯に窯木を入れる作業

一窯分の窯木を寄せたらいいよ…。正確には窯にある炭を取り出してから空の窯に窯木入れになりますが、ここでは窯木入れについて書きます。

師匠が言うには、窯木入れが最も大切な作業の一つで、名人は2日かけて窯木を入れるようです。なぜ2日もかかるかというと、それほど丁寧に並べていくからです。よく焼ける場所にはいい炭になる木を、入口付近にはいい炭にならない木を隙間なく並べていきます。木と木の隙間が多い=空気が多いことになり燃えて炭が少なくなります。

窯にも性格があるようですが、寡黙な性格なのでなかなか打ち解けてくれません。私のアプローチ(経験と観察力)が足りないようです。



窯木入れの様子

4月のイベント



一之瀬のポケットパークにて

桜が満開だった2日(日)の午前中には、今年度初めての一之瀬地区の朝市に出店させて頂きました。同日午後には時地区の烏帽子岳登山道整備に参加しました。

15日(土)にはRebel meetingに出店させて頂きました。天候に恵まれなかったのが残念でした。

イベントに参加するたびに、いろいろな人と交流できるのは嬉しいですね。参加者が上石津町の何かを愛していることが伺えて心に染み入ります。

鍼灸師としての雑感 ～陰陽五行説～

古代中国では、陰陽論と五行説が合わさって陰陽五行説が展開されてきました。陰陽はすべてを二元論で分析したものと一、男と女、日と月、天と地などです。五行説はすべてを木・火・土・金・水に分類して分析したものです。

陰陽五行説は東洋医学以外にも使われています。時間のエネルギーを陰陽五行説で分析したものが四柱推命や九星気学です。形のエネルギーを分析したものが相学で、人相学や手相学、また風水もそうです。変化を分析したものが易学です。

ちなみに風水では邪気払いとして塩や鏡が使われる他、炭も使われているようです。

裏面もあるのじゃ



「時山炭」熱気を再燃

上石津の保存会、販路確保へクラブ創設

大垣市上石津町の時山地区の特産品だった「時山炭」の文化継承に取り組み「時山炭保存会（川添公明会長）が、サポーターズクラブを創設した。「時山炭」の販路を確保して売り上げを安定させ、かつてのような商品のブランド化を目指す。

（野田祐治）

同地区は古くからの木炭の産地。だが、戦後の燃料革命で衰退し、一度は製炭が途絶えた。昨年8月から中村明弘さん(45)＝同町時山＝が、継承には販路を確保し、域おこし協力隊員として着任し、技術を住民から学んで作りの伝統文化を後世に残そうと尽力している。



時山炭をアピールする中村明弘さん（左）と川添公明会長＝大垣市役所

引き続き、時山炭サポーターズ会員様を募集しております！
会員登録よろしくお願いたします。



会員申込QRコード

会員価格で提供「強い火力」品質に自信

が欠かせず、サポーターズクラブを立ち上げた。会費は無料で、会員証を発行し、お試し品として炭1キを進呈する。1キ当たり50円引きの会員価格で炭を購入できるほか、中村さんが地元で活動の様子を発信するチラシ「協力量通信」のメールや、炭作りのイベントに参加できる特典もある。

会員価格は、カシの木が原料で、24時間燃え続けて最高級品とされる「樫1級」が1キ350円。ツバキやケヤキなどを原料に作り、主力品の1級が同300円、少し形が崩れた2級が同250円。送料は別途必要。

海外製に比べて倍ほどの値段というが、中村さんは「火力が強くて長持ちして、はじけにくい、煙が少ない」と品質に胸を張る。「バーベキューなどの燃料としてだけでなく、調理や防災の備蓄としても使える。生活に炭を取り入れてほしい」と話す。

入会申し込みや商品の注文、問い合わせは同保存会電話0584(45)3113。

先月、時山炭サポーターズクラブ会員募集のチラシも回覧させていただきありがとうございました。お陰様でサポーターズクラブ会員数が150人を越えることができました。皆様の伝統文化を支えようというご理解に感謝です。

時山炭保存会と行政が協力し、時山炭の再生が始まりました。私の力不足で師匠達に助けられっぱなしです。技術面での課題の他にも、炭窯の老朽化・安定した供給と販売など課題は多くありますが、より多くの方と協力し合えば乗り越えられると信じています。これからも応援のほどよろしくお願い申し上げます。

4月に大垣ケーブルテレビで放送された「水都ピア通信おおがき」で時山炭が紹介されましたので、見逃がされた方はQRコードを読みとってご覧ください。



番組アドレスQRコード